

「世界史探究」年間指導計画にもとづく評価規準例 ※◎は評定に用いる評価

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能 (評価の方法)	思考・判断・表現 (評価の方法)	主体的に学習に取り組む態度 (評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
序章	世界史へのまなざし	4月	2	<ul style="list-style-type: none"> 衣食住、家族、教育、余暇などの身の回りの諸事象を基に、私たちの日常生活が世界の歴史とつながっていることを理解している。 人類の誕生と地球規模での拡散・移動を基に、人類の歴史と地球環境との関わりについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 諸事象の来歴や変化に着目して、主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史との関連性を考察し、表現している。 諸事象を捉えるための時間の尺度や、諸事象の空間的な広がりに着目し、主題を設定し、地球の歴史における人類の歴史の位置と人類の特性を考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活から見る世界の歴史や、地球環境から見る人類の歴史について、課題意識や学習への見通しをもち、主体的に学習に取り組もうとしている。 	○世界史探究の導入としての位置づけを踏まえ、生徒が現在と異なる過去や現在につながる過去に触れ、世界史学習の意味や意義に気づくようにする。
	1 茶と世界史		1	<ul style="list-style-type: none"> 「茶」を基に、日常生活が世界の歴史とつながっていることを、諸資料から読み取り、理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「茶」の来歴に着目して主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史との関連性を多面的・多角的に考察し、表現している。 		○身の回りの諸事象と世界の歴史との関連性を理解する。
	2 地球と人類の誕生		1	<ul style="list-style-type: none"> 地球の誕生や人類の出現、原人から新人への人類の進化などについて、諸資料から読み取り、理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 現生人類はどのようにして地球全体に拡散していったのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 		○現生人類はどのようにして地球全体に拡散していったのかについて理解する。
第1編	諸地域の歴史的特質 「諸地域の歴史的特質への問い」	4月	2	<ul style="list-style-type: none"> 王権と身分・階級、生活と生業、宗教、文化・思想などに関する諸資料を活用し、情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目して、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について多面的・多角的に考察し、問いを表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 諸地域の歴史的特質について、課題意識や学習への見通しをもち、主体的に学習に取り組もうとしている。 	○王権と身分・階級、生活と生業、宗教、文化・思想などに関する諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現する。
第1章	古代文明の出現	4月	5	<ul style="list-style-type: none"> オリエント文明、インダス文明、中華文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「古代文明の出現」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 	○各地域の古代文明について、その共通点や相違点、それらが自然環境とどのように関係しているかなどについて理解する。
	1 農業と気候		0.5	<ul style="list-style-type: none"> 農業と気候、文明の誕生について、諸資料から読み取り、理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 農耕と牧畜のはじまりによって人類の生活様式が大きく変わったことや、地球上のさまざまな自然環境に応じて文明が誕生したことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 		○農耕と牧畜のはじまりによって人類の生活様式が大きく変わったことや、地球上のさまざまな自然環境に応じて文明が誕生したことについて理解する。
	2 古代オリエントとその周辺		2	<ul style="list-style-type: none"> メソポタミア文明やエジプト文明、エーゲ文明などについて、諸資料から読み取り、理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> メソポタミア文明、エジプト文明、エーゲ文明などがそれぞれの自然環境とどのように関係しておこったのか、それらの文明がのちの社会にどのような影響を与えたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 		○メソポタミア文明、エジプト文明、エーゲ文明などがそれぞれの自然環境とどのように関係しておこったのか、それらの文明がのちの社会にどのような影響を与えたのかについて理解する。
	3 オセアニア		0.5	<ul style="list-style-type: none"> 人類のオセアニア到達、オーストロネシア語族の拡散について、諸資料から読み取り、理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 人類が広大な太平洋の各地に広がっていく過程を、多面的・多角的に考察し、表現している。 		○人類が広大な太平洋の各地に広がっていく過程を理解する。
	4 南アジア		0.5	<ul style="list-style-type: none"> 南アジアの古代文明について、諸資料から読み取り、理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> インダス文明が南アジアの自然環境とどのように関係しておこったのか、インダス文明やアーリヤ人の来住がのちの社会にどのような影響を与えたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 		○インダス文明が南アジアの自然環境とどのように関係しておこったのか、インダス文明やアーリヤ人の来住がのちの社会にどのような影響を与えたのかについて理解する。
	5 東アジア		1	<ul style="list-style-type: none"> 東アジアにめばえた文明や古代国家について、諸資料から読み取り、理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 黄河文明が東アジアの自然環境とどのように関係しておこったのか、黄河文明や殷・周がのちの社会にどのような影響を与えたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 		○黄河文明が東アジアの自然環境とどのように関係しておこったのか、黄河文明や殷・周がのちの社会にどのような影響を与えたのかについて理解する。
	6 古アメリカ		0.5	<ul style="list-style-type: none"> メソアメリカとアンデスで成立した文明や、北アメリカ大陸の文化について、諸資料から読み取り、理解している。 ◎古代文明の歴史的特質を概念的に理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 南北アメリカ大陸の文明にはどのような独自性があるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ◎古代文明の歴史的特質について主題を設定して考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎古代文明の歴史的特質についての自らの学習を振り返り、学びを深めている。 	○南北アメリカ大陸の文明の独自性について理解する。
第2章	西アジアと地中海周辺	4月・5月	8	<ul style="list-style-type: none"> 西アジアと地中海周辺の諸国家、キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み 	<ul style="list-style-type: none"> 「西アジアと地中海周辺」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○西アジアと地中海周辺の国家がどのように影響を及ぼしあい、どのような共通点をもっているのかについて理解する。 ○この世界で成立した宗教が現在の世界の宗教分布とどのように関係

単元番号	単元名	実施月	単元の 時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能 (評価の方法)	思考・判断・表現 (評価の方法)	主体的に学習に取り組む態度 (評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
					解き、西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色、キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。		しているかについて理解する。
	1 古代オリエントの統一		1	・古代オリエントの統一について、諸資料から読み取り、理解している。	・アッシリアとアケメネス朝ペルシアの統治の共通点と相違点について、多面的・多角的に考察し、表現している。		○アッシリアとアケメネス朝ペルシアの統治の共通点と相違点を理解する。
	2 古代ギリシアとヘレニズム世界		1	・古代ギリシアとヘレニズム世界について、諸資料から読み取り、理解している。	・アテネの民主政と現代の民主政にはどのようなちがいがあのかについて多面的・多角的に考察し、表現している。		○アテネの民主政と現代の民主政にはどのようなちがいがあのかについて理解する。
	3 ローマ帝国と地中海世界		2	・ローマによる地中海世界の統一や、ローマが共和政から帝政に移行した背景などについて、諸資料から読み取り、理解している。	・ローマがなぜ共和政から帝政に移行したのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○ローマがなぜ共和政から帝政に移行したのかについて理解する。
	4 地中海世界の解体と古代末期の社会		1	・ローマ帝国の政治、社会、宗教が変化していく過程や、キリスト教の広まり、ゲルマン人の大移動の東西ローマ帝国への影響などについて、諸資料から読み取り、理解している。 ◎古代ギリシアとローマ帝国の共通点と相違点について概念的に理解している。	・ローマ帝国の政治、社会、宗教の変化やキリスト教の広まりが、その後のヨーロッパにどのような影響を与えたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ◎古代ギリシアとローマ帝国の共通点と相違点について主題を設定して考察し、表現している。	◎古代ギリシアとローマ帝国の共通点と相違点についての自らの学習を振り返り、学びを深めている。	○ローマ帝国の政治、社会、宗教の変化やキリスト教の広まりが、その後のヨーロッパにどのような影響を与えたのかについて理解する。
	5 パルティア王国とササン朝ペルシア		1	・パルティア王国やササン朝がローマ帝国や南アジア、東アジアとつながっていたことについて、諸資料から読み取り、理解している。	・イランの国家や文明が、ローマ帝国や南アジア、東アジアとどのようにつながっていたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○イランの国家や文明が、ローマ帝国や南アジア、東アジアとどのようにつながっていたのかについて理解する。
	6 イスラーム世界の成立		1	・イスラーム世界の成立について、諸資料から読み取り、理解している。	・イスラームとはどのような特徴をもった宗教で、どのように広まったのか、ムスリム間の平等はどのように達成されたのかについて、ほかの宗教と比較するなどして多面的・多角的に考察し、表現している。		○イスラームとはどのような特徴をもった宗教で、どのように広まったのか、ムスリム間の平等はどのように達成されたのかについて、ほかの宗教と比較するなどして理解する。
	7 中世初期の東西ヨーロッパ		1	・西ローマ帝国滅亡後の東西ヨーロッパが、それぞれどのような変容をとげたのかについて、諸資料から読み取り、理解している。 ◎キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴を概念的に理解している。	・東西ヨーロッパはそれぞれどのような変容をとげたのか、どのように影響を及ぼしあい、どのような相違点と共通点をもっていたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ◎キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴について主題を設定して考察し、表現している。	◎キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴についての自らの学習を振り返り、学びを深めている。	○東西ヨーロッパはそれぞれどのような変容をとげたのか、どのように影響を及ぼしあい、どのような相違点と共通点をもっていたのかについて理解する。
第3章	南アジア	5月	2	・仏教の成立とヒンドゥー教、南アジアの諸国家などを基に、南アジアの歴史的特質を理解している。	・南アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、南アジアにおける宗教や文化の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	・「南アジア」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○南アジア地域を特徴づける「多様ななかの統一」とはどのようなことなのかなどについて理解する。
	1 南アジアにおける国家形成		1	・南アジアにおける国家形成と諸宗教について、諸資料から読み取り、理解している。	・南アジアの諸宗教はどのような歴史的背景において誕生したのかなどについて多面的・多角的に考察し、表現している。		○南アジアの諸宗教はどのような歴史的背景において誕生したのかなどについて理解する。
	2 インド世界の形成		1	・政治的・文化的に独自性の強いインド世界が形成されていく過程について、諸資料から読み取り、理解している。 ◎南アジアの歴史的特質を概念的に理解している。	・南アジアの国家や社会がどのように形成されたのかなどについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ◎南アジアの歴史的特質について主題を設定して考察し、表現している。	◎南アジアの歴史的特質についての自らの学習を振り返り、学びを深めている。	○南アジアの国家や社会がどのように形成されたのかなどについて理解する。
第4章	東南アジア	5月	1	・海の道や東南アジアの諸国家を基に、東南アジアの歴史的特質を理解している。	・東南アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、東南アジアにおける宗教や文化の特色、周辺諸地域との関係などを	・「東南アジア」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○東南アジアにおける国家形成が交易や思想・文化とどのように関係しているのかなどについて理解する。

単元番号	単元名	実施月	単元の 時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能 (評価の方法)	思考・判断・表現 (評価の方法)	主体的に学習に取り組む態度 (評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
					多面的・多角的に考察し、表現している。		
	1 海の道の形成と東南アジア		0.5	・東南アジアの基層文化の上に交易網が発達し、港市国家が形成されていく過程について、諸資料から読み取り、理解している。	・東南アジアにおいて、国家がどのように形成されたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○東南アジアにおいて、国家がどのように形成されたのかについて理解する。
	2 東南アジア諸国家の再編		0.5	・海上交易の拡大にともなって国家が形成されていったことについて、諸資料から読み取り、理解している。 ◎東南アジアの歴史的特質を概念的に理解している。	・東南アジアの諸国家がどのように関係しあいながら再編されていったのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ◎東南アジアの歴史的特質について主題を設定して考察し、表現している。	◎東南アジアの歴史的特質についての自らの学習を振り返り、学びを深めている。	○東南アジアの諸国家がどのように関係しあいながら再編されていったのかについて理解する。
第5章	東アジアと中央ユーラシア	5月・6月	5	・秦・漢と遊牧国家、唐と近隣諸国の動向などを基に、東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解している。	・東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、唐の統治体制と社会や文化の特色、唐と近隣諸国との関係、遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・「東アジアと中央ユーラシア」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○東アジアと中央ユーラシアの古代国家はどのようにして生まれたのか、また古代国家の発展が社会と文化に与えた影響や、それによって生みだされた地域の特色について理解する。
	1 古代帝国の誕生		2	・中国で領域国家へと社会の統合がすすみ、秦漢時代には中央集権国家が誕生したこと、モンゴル高原で誕生した匈奴帝国が秦漢帝国と対立したことなどについて、諸資料から読み取り、理解している。	・秦漢帝国や匈奴帝国はどのようにして生まれ、どのような性格をもっていたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○秦漢帝国や匈奴帝国はどのようにして生まれ、どのような性格をもっていたのかについて理解する。
	2 中国の分裂と多様化		1	・モンゴル高原の柔然と華北の北朝、華南の南朝がならびたつなど中国の分裂と多様化がすすんだことについて、諸資料から読み取り、理解している。	・中国の分裂と社会の変化は、周辺地域の動きとどのようにかわりあいながら進展したのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○中国の分裂と社会の変化は、周辺地域の動きとどのようにかわりあいながら進展したのかについて理解する。
	3 隋唐帝国と東アジア		1.5	・隋唐が周辺地域を含んだ統合や、周辺諸国との冊封を通じた国際秩序の形成をめざしたこと、日本や新羅が唐の政治制度を取り入れて国家体制の整備をすすめたことなどについて、諸資料から読み取り、理解している。 ◎東アジアの歴史的特質を概念的に理解している。	・隋唐帝国はどのようにして諸地域を統合したのか、また、日本や東アジアの国々は隋唐の文化をどのように受容したのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ◎東アジアの歴史的特質について主題を設定して考察し、表現している。	◎東アジアの歴史的特質について自らの学習を振り返り、学びを深めている。	○隋唐帝国はどのようにして諸地域を統合したのか、また、日本や東アジアの国々は隋唐の文化をどのように受容したのかについて理解する。
	4 草原地帯のトルコ化とイスラーム化		0.5	・トルコ系の突厥が大帝国を形成したのち、中央ユーラシアでトルコ化・イスラーム化がすすんでいくことについて、諸資料から読み取り、理解している。 ◎騎馬遊牧民の歴史的特質を概念的に理解している。	・トルコ系の民族がユーラシア大陸の広範囲に広がっていく過程について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ◎騎馬遊牧民の歴史的特質について主題を設定して考察し、表現している。	◎騎馬遊牧民の歴史的特質について自らの学習を振り返り、学びを深めている。	○トルコ系の民族がユーラシア大陸の広範囲に広がっていく過程について理解する。
第2編	諸地域の交流と再編「諸地域の交流・再編への問い」	6月	2	・国家体制の変化、広がる世界像、宗教や科学・技術および文化・思想の伝播、交易の拡大、都市の発達などに関する諸資料を活用し、情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけている。	・諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み説く観点について多面的・多角的に考察し、問いを表現している。	・諸地域の交流・再編について、課題意識や学習への見通しをもち、主体的に学習に取り組もうとしている。	○国家体制の変化、広がる世界像、宗教や科学・技術および文化・思想の伝播、交易の拡大、都市の発達などに関する諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現する。
第6章	イスラーム世界の拡大と繁栄	6月	2	・西アジア社会の動向とアジア・アフリカ・イベリア半島へのイスラームの伝播などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。	・諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、諸地域へのイスラームの拡大の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・「イスラーム世界の拡大と繁栄」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○アジア・アフリカ・イベリア半島の広大な地域が、イスラーム文明圏としてまとまった理由などについて理解する。
	1 イスラーム世界の発展		1	・イスラーム世界には複数の王朝が並存していたことについて、諸資料から読み取り、理解している。	・イスラーム世界が複数の国家に分裂していきながらどのように拡大していったのかなどについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○イスラーム世界が複数の国家に分裂していきながらどのように拡大していったのかなどについて理解する。

単元番号	単元名	実施月	単元の 時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能 (評価の方法)	思考・判断・表現 (評価の方法)	主体的に学習に取り組む態度 (評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
	2 イスラーム文明		1	・イスラーム文明について、諸資料から読み取り、理解している。 ◎イスラーム世界の拡大と繁栄について概念的に理解している。	・高度なイスラーム文明の形成に商業の発達はどのように関係しているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ◎イスラーム世界の拡大と繁栄について主題を設定して考察し、表現している。	◎イスラーム世界の拡大と繁栄についての自らの学習を振り返り、学びを深めている。	○高度なイスラーム文明の形成に商業の発達はどのように関係しているのかについて理解する。 ◎イスラーム世界の拡大と繁栄について概念的に理解する。
第7章	中世ヨーロッパ	6月・7月	7	・ヨーロッパ封建社会とその展開などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。	・諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・「中世ヨーロッパ」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○9世紀から15世紀にかけて、ヨーロッパ世界ではどのような政治、経済、社会、文化の変動がおこったのか、また、それらの変動の結果は後世のヨーロッパにどのように継承されていったのかなどについて理解する。
	1 中世ヨーロッパ社会の展開		2	・西ヨーロッパ封建社会の成立や東ヨーロッパ社会の動向について、諸資料から読み取り、理解している。	・西ヨーロッパの封建社会はどのような背景で成立し、東ヨーロッパの民族・国家・宗教はどのように結びついたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○西ヨーロッパの封建社会はどのような背景で成立し、東ヨーロッパの民族・国家・宗教はどのように結びついたのかについて理解する。
	2 中世西ヨーロッパ社会の成熟		2	・西ヨーロッパ社会やカトリック教会がどのように発展したかについて、諸資料から読み取り、理解している。	・11世紀以降、西ヨーロッパの農業、商業、都市はどのように変容したのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○11世紀以降、西ヨーロッパの農業、商業、都市はどのように変容したのかについて理解する。
	3 中世西ヨーロッパの文化		1	・中世西ヨーロッパの文化について、諸資料から読み取り、理解している。 ◎中世ヨーロッパ社会の展開と成熟について概念的に理解している。	・中世西ヨーロッパの文化は他地域の文化やキリスト教からどのような影響を受けたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ◎中世ヨーロッパ社会の展開と成熟について主題を設定して考察し、表現している。	◎中世ヨーロッパ社会の展開と成熟についての自らの学習を振り返り、学びを深めている。	○中世西ヨーロッパの文化は他地域の文化やキリスト教からどのような影響を受けたのかについて理解する。 ◎中世ヨーロッパ社会の展開と成熟について概念的に理解する。
	4 中世ヨーロッパ社会の再編		1	・中世後期の西ヨーロッパ各地の動向をもとに、西ヨーロッパ封建社会がどのように変容したかについて、諸資料から読み取り、理解している。	・中世後期の西ヨーロッパでは、社会的・政治的にどのような変動がおこったのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○中世後期の西ヨーロッパでは、社会的・政治的にどのような変動がおこったのかについて理解する。
	5 ルネサンス		1	・ルネサンスの展開や近代につながる科学・技術の発達について、諸資料から読み取り、理解している。 ◎中世後期のヨーロッパ社会の変動とルネサンスについて概念的に理解している。	・ルネサンスはどのような社会的背景をもち、どのような影響を後世に与えたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ◎中世後期のヨーロッパ社会の変動とルネサンスについて主題を設定して考察し、表現している。	◎中世後期のヨーロッパ社会の変動とルネサンスについての自らの学習を振り返り、学びを深めている。	○ルネサンスはどのような社会的背景をもち、どのような影響を後世に与えたのかについて理解する。 ◎中世後期のヨーロッパ社会の変動とルネサンスについて概念的に理解する。
第8章	中華世界の変容とモンゴル帝国	7月	4	・宋の社会とモンゴル帝国の拡大などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。	・諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、中国社会の特徴やモンゴル帝国が果たした役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・「中華世界の変容とモンゴル帝国」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○10世紀以降、東アジアはどのように再編されたのか、また、モンゴル帝国はどのようにして生まれ、どのように世界を結びつけたのかなどについて理解する。
	1 唐の崩壊後の東アジア		1	・唐崩壊後の東アジアの変動や、遼・西夏・金の動向について、諸資料から読み取り、理解している。	・10世紀の東アジア諸国の大変動はなぜおこり、どのように中華世界が再編されたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○10世紀の東アジア諸国の大変動はなぜおこり、どのように中華世界が再編されたのかについて理解する。
	2 宋代の新展開		1	・宋の社会や経済の発展、文化について、諸資料から読み取り、理解している。	・唐宋変革とよばれる中国社会の大変革はどのようにしておこったのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○唐宋変革とよばれる中国社会の大変革はどのようにしておこったのかについて理解する。
	3 モンゴル帝国		1	・モンゴル帝国の展開と東西交流について、諸資料から読み取り、理解している。	・モンゴル帝国はどのようにして大帝国へと発展したのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○モンゴル帝国はどのようにして大帝国へと発展したのかについて理解する。
	4 元の成立		1	・元の社会と文化、東アジア・東南アジア諸国との関係について、諸資料から読み取り、理解している。 ◎中華世界の変容とモンゴル帝国について概念的に理解して	・モンゴルの支配は、中国や朝鮮、日本の社会や文化にどのような変化をもたらしたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ◎中華世界の変容とモンゴル帝国について主題を設定して考察	◎中華世界の変容とモンゴル帝国についての自らの学習を振り返	○モンゴルの支配は、中国や朝鮮、日本の社会や文化にどのような変化をもたらしたのかについて理解する。 ◎中華世界の変容とモンゴル帝国について概念的に理解する。

単元番号	単元名	実施月	単元の 時数	評価基準			学習のねらい
				知識・技能 (評価の方法)	思考・判断・表現 (評価の方法)	主体的に学習に取り組む態度 (評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
				いる。	し、表現している。	り、学びを深めている。	
第9章	インド洋海域世界の発展と東南アジア	9月	2	・インド洋海域世界と東南アジアの発展などを基に、諸地域の交易の進展を構造的に理解している。	・諸地域の交易に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、インド洋海域世界と東南アジアの発展などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・「インド洋海域世界の発展と東南アジア」の内容に対して、見直しをもって学習に取り組もうとしている。	○インドと東南アジアにおけるイスラームの広がりが一様でなかった要因などについて理解する。
	1 インドとインド洋海域へのイスラームの浸透		1	・インド洋海域世界のイスラーム化、スワヒリ文化圏の成立について、諸資料から読み取り、理解している。	・イスラームはインドやインド洋海域にどのように広がり、どのような影響を与えたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○イスラームはインドやインド洋海域にどのように広がり、どのような影響を与えたのかについて理解する。
	2 東南アジアにおける海と陸の結合		1	・港市国家の発展と東南アジア内陸国家の台頭について、諸資料から読み取り、理解している。 ◎インド洋海域世界の発展と東南アジアについて概念的に理解している。	・東南アジアにおいて国家が発展する過程が、島嶼部と大陸部で異なる要因について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ◎インド洋海域世界の発展と東南アジアについて主題を設定して考察し、表現している。	◎インド洋海域世界の発展と東南アジアについての自らの学習を振り返り、学びを深めている。	○東南アジアにおいて国家が発展する過程が、島嶼部と大陸部で異なる要因について理解する。 ◎インド洋海域世界の発展と東南アジアについて概念的に理解する。
第10章	大交易時代と世界の一体化	9月	6	・アジア海域での交易の興隆、明と日本・朝鮮の動向、スペインとポルトガルの活動などを基に、諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解している。	・諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、アジア海域での交易の特徴、ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・「大交易時代と世界の一体化」の内容に対して、見直しをもって学習に取り組もうとしている。	○大交易時代に、なぜ世界の各地で社会がほぼ同時に大きく変化したのか、また、世界の諸地域間の関係は、前後の時代と比べてどのように特徴づけられるのかなどについて理解する。
	1 アジア交易圏の再編と活況		0.5	・マラッカを中心としたアジア交易圏や、インドの政治的分裂と海上交易の展開について、諸資料から読み取り、理解している。	・アジアの交易圏は、なぜマラッカを中心に再編されることになったのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○アジアの交易圏は、なぜマラッカを中心に再編されることになったのかについて理解する。
	2 ポルトガルのアジア進出		0.5	・ポルトガルのアジア進出について、諸資料から読み取り、理解している。	・ポルトガルがアジアに進出した理由と、そのことがアジアの交易世界にどのような影響を与えたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○ポルトガルがアジアに進出した理由と、そのことがアジアの交易世界にどのような影響を与えたのかについて理解する。
	3 明と東アジア		2	・明と日本・朝鮮の動向について、諸資料から読み取り、理解している。 ◎大交易時代のアジア社会について概念的に理解している。	・明の国内重視の国家体制と活発な交易が、いかに両立したのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ◎大交易時代のアジア社会について主題を設定して考察し、表現している。	◎大交易時代のアジア社会についての自らの学習を振り返り、学びを深めている。	○明の国内重視の国家体制と活発な交易がいかに両立したのかについて理解する。 ◎大交易時代のアジア社会について概念的に理解する。
	4 スペインのアメリカ征服と一体化に向かう世界		1	・スペインによる世界周航の達成やアメリカの征服、アジア進出について、諸資料から読み取り、理解している。	・スペインがアメリカやアジアに進出した理由と、そのことが世界の交易のあり方をどのようにかえたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○スペインがアメリカやアジアに進出した理由と、そのことが世界の交易のあり方をどのようにかえたのかについて理解する。
	5 大交易時代の世界		2	・大交易時代はヨーロッパ世界と東南アジア、東アジア世界にどのような変容をもたらしたのかについて、諸資料から読み取り、理解している。 ◎大交易時代のヨーロッパ社会と世界の一体化について概念的に理解している。	・大交易時代に、なぜオランダが最も有力な交易勢力の一つになったのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ◎大交易時代のヨーロッパ社会と世界の一体化について主題を設定して考察し、表現している。	◎大交易時代のヨーロッパ社会と世界の一体化についての自らの学習を振り返り、学びを深めている。	○大交易時代に、なぜオランダが最も有力な交易勢力の一つになったのかについて理解する。 ◎大交易時代のヨーロッパ社会と世界の一体化について概念的に理解する。
第11章	ユーラシア諸帝国の繁栄	9月	4	・西アジアや南アジアの諸帝国、清と日本・朝鮮などの動向を基に、アジア諸地域の特質を構造的に理解している。	・アジア諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、諸帝国の統治の特徴、アジア諸地域の経済と社会や文化の特色、日本の対外関係の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・「ユーラシア諸帝国の繁栄」の内容に対して、見直しをもって学習に取り組もうとしている。	○16世紀から18世紀にかけて、アジア諸地域に成立した諸帝国が比較的安定した社会を維持できたのはなぜか、また経済的繁栄はどのようにもたらされたのかなどについて理解する。
	1 中央アジアと西アジア		1	・ティムール朝、サファヴィー朝、オスマン帝国について、諸資料から読み取り、理解し	・ティムール朝、サファヴィー朝、オスマン帝国の繁栄の相違点と共通点について、多面的・		○ティムール朝、サファヴィー朝、オスマン帝国の繁栄の相違点と共通点について理解する。

単元番号	単元名	実施月	単元の 時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能 (評価の方法)	思考・判断・表現 (評価の方法)	主体的に学習に取り組む態度 (評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
				ている。	多角的に考察し、表現している。		
	2 ムガル帝国		1	・ムガル帝国について、諸資料から読み取り、理解している。	・ムガル帝国の繁栄は、世界の諸地域の動きとどのように関連していたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○ムガル帝国の繁栄は、世界の諸地域の動きとどのように関連していたのかについて理解する。
	3 清と東アジア		2	・清の統治や対外関係、経済、文化について、諸資料から読み取り、理解している。 ◎16世紀から18世紀にかけてのアジアの諸帝国について概念的に理解している。	・清はなぜ多様な文化や宗教を有する人々を、長期にわたり統治することができたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ◎16世紀から18世紀にかけてのアジアの諸帝国について主題を設定して考察し、表現している。	◎16世紀から18世紀にかけてのアジアの諸帝国についての自らの学習を振り返り、学びを深めている。	○清はなぜ多様な文化や宗教を有する人々を、長期にわたり統治することができたのかについて理解する。 ◎16世紀から18世紀にかけてのアジアの諸帝国について概念的に理解する。
第12章	主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大	10月	7	・宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争、大西洋三角貿易の展開、科学革命と啓蒙思想などを基に、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解している。	・ヨーロッパ諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、宗教改革の意義、大西洋沿岸諸地域の経済的連関の特徴、主権国家の特徴と経済活動との関連、ヨーロッパ社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・「主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○16世紀から18世紀にかけてヨーロッパにあらわれた新しい国家にはどのような特徴があったのか、また、その形成にはどのような要因が働いていたのかなどについて理解する。
	1 主権国家群の形成と宗教改革		1	・主権国家の形成と宗教改革について、諸資料から読み取り、理解している。	・16世紀のヨーロッパにおける主権国家による国際秩序の形成と宗教とのかかわりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○16世紀のヨーロッパにおける主権国家による国際秩序の形成と宗教とのかかわりについて理解する。
	2 オランダの繁栄と英仏の国家形成		2	・オランダの繁栄と英仏の国家形成、三十年戦争について、諸資料から読み取り、理解している。 ◎主権国家体制の形成について概念的に理解している。	・17世紀にオランダ・イギリス・フランスはそれぞれどのように台頭してきたのか、また、三十年戦争がヨーロッパとドイツに与えた影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ◎主権国家体制の形成について、主題を設定して考察し、表現している。	◎主権国家体制の形成についての自らの学習を振り返り、学びを深めている。	○17世紀にオランダ・イギリス・フランスはそれぞれどのように台頭してきたのか、また、三十年戦争がヨーロッパとドイツに与えた影響について理解する。 ◎主権国家体制の形成について概念的に理解する。
	3 商業覇権と植民地建設		1	・大西洋三角貿易と奴隷貿易、英仏の植民地抗争について、諸資料から読み取り、理解している。	・ヨーロッパ諸国の貿易と植民地建設は、ヨーロッパ、アフリカ、アメリカ大陸にどのような影響を与えたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○ヨーロッパ諸国の貿易と植民地建設は、ヨーロッパ、アフリカ、アメリカ大陸にどのような影響を与えたのかについて理解する。
	4 啓蒙専制国家の発展		2	・東欧の啓蒙専制国家の動向について、諸資料から読み取り、理解している。	・18世紀にヨーロッパ東方の3国はどのような改革によって台頭してきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○18世紀にヨーロッパ東方の3国はどのような改革によって台頭してきたのかについて理解する。
	5 近世ヨーロッパの社会と文化		1	・近世ヨーロッパの社会と文化について、諸資料から読み取り、理解している。 ◎地球規模での交易の拡大について概念的に理解している。	・自然科学、哲学、芸術などの分野でどのような新しい思想が生まれたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ◎地球規模での交易の拡大について、主題を設定して考察し、表現している。	◎地球規模での交易の拡大についての自らの学習を振り返り、学びを深めている。	○自然科学、哲学、芸術などの分野でどのような新しい思想が生まれたのかについて理解する。 ◎地球規模での交易の拡大について概念的に理解する。
第3編	一体化していく世界「一体化していく世界への問い」	10月	2	・人々の国際的な移動、マスメディアの発達、自由貿易の広がり、国際規範の変容、科学・技術の発達、文化・思想の展開などに関する諸資料を活用し、情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけている。	・諸地域の結合・変容に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の結合・変容を読み解く観点について多面的・多角的に考察し、問いを表現している。	・諸地域の結合・変容について、課題意識や学習への見通しをもち、主体的に学習に取り組もうとしている。	○人々の国際的な移動、マスメディアの発達、自由貿易の広がり、国際規範の変容、科学・技術の発達、文化・思想の展開などに関する諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、諸地域の結合・変容を読み解く観点について考察し、問いを表現する。
第13章	国民国家と近代社会の形成	10月・11月	8	・産業革命と環大西洋革命、自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開などを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解している。	・大西洋沿岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、産業革命や環大西洋革命の意味や意義、自由主義とナショナリズムの特徴、南北アメリカ大陸の変容などを多面的・多角	・「国民国家と近代社会の形成」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○18世紀半ばから19世紀半ばにかけて、欧米で産業革命や、国民が政治の主体となる国家を建設しようとする動きが広がったのはなぜか、また、このような変革は、現代までどのような影響を与えているのかについて理解する。

単元番号	単元名	実施月	単元の 時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能 (評価の方法)	思考・判断・表現 (評価の方法)	主体的に学習に取り組む態度 (評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
					的に考察し、表現している。		
	1 産業革命と工業化		1	・産業革命と工業化について、諸資料から読み取り、理解している。	・イギリスで産業革命がはじまった原因について、多面的・多角的に考察し、表現している。		○イギリスで産業革命がはじまった原因について理解する。
	2 アメリカ合衆国とラテンアメリカ諸国の独立		1.5	・アメリカ合衆国とラテンアメリカ諸国の独立について、諸資料から読み取り、理解している。	・南北アメリカにおける諸国の独立によって、どのような権利がどのような人々に認められるようになったのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○南北アメリカにおける諸国の独立によって、どのような権利がどのような人々に認められるようになったのかについて理解する。
	3 フランス革命とウィーン体制		1.5	・フランス革命とナポレオン帝政、他国への影響、ウィーン体制について、諸資料から読み取り、理解している。 ◎産業革命と環大西洋革命について概念的に理解している。	・フランス革命の展開と他国への影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ◎産業革命と環大西洋革命について、主題を設定して考察し、表現している。	◎産業革命と環大西洋革命についての自らの学習を振り返り、学びを深めている。	○フランス革命の展開と他国への影響について理解する。 ◎産業革命と環大西洋革命について概念的に理解する。
	4 自由主義の台頭と新しい革命の波		1	・自由主義・社会主義の台頭や、1848年諸革命などの時代の転換、19世紀半ばまでの文化と思想について、諸資料から読み取り、理解している。	・1848年にヨーロッパ諸国でおこった出来事と背景と、それによって明らかになった課題はどのようなものだったのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○1848年にヨーロッパ諸国でおこった出来事と背景と、それによって明らかになった課題はどのようなものだったのかについて理解する。
	5 19世紀後半のヨーロッパ諸国		2	・東方問題とヨーロッパ国際関係の変動、イタリア・ドイツの統一など19世紀後半のヨーロッパ諸国の動向について、諸資料から読み取り、理解している。	・ヨーロッパ諸国における国民意識の高まりと覇権競争が、どのような結果をもたらしたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○ヨーロッパ諸国における国民意識の高まりと覇権競争がどのような結果をもたらしたのかについて理解する。
	6 南北アメリカの発展		1	・南北戦争とアメリカ合衆国の拡大、独立後のラテンアメリカ社会と文化について、諸資料から読み取り、理解している。 ◎欧米での近代社会の形成について概念的に理解している。	・19世紀後半のアメリカ各国の社会はどのような課題をかかえていたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ◎欧米での近代社会の形成について、主題を設定して考察し、表現している。	◎欧米での近代社会の形成についての自らの学習を振り返り、学びを深めている。	○19世紀後半のアメリカ各国の社会はどのような課題をかかえていたのかについて理解する。 ◎欧米での近代社会の形成について概念的に理解する。
第14章	世界市場の形成とアジア諸国の変容	11月	4	・国際的な分業体制と労働力の移動、イギリスを中心とした自由貿易体制、アジア諸国の植民地化と諸改革などを基に、世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に理解している。	・世界市場の形成とアジア諸国の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、労働力の移動を促す要因、イギリスの覇権の特徴、アジア諸国の変容の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・「世界市場の形成とアジア諸国の変容」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○産業革命で先行したイギリスが19世紀半ばに自由貿易体制を推進したのに対し、後発のヨーロッパ諸国はどのように対応したのか、また、ヨーロッパ発の工業化の波はアジア諸国に何をもちたのかについて理解する。
	1 産業資本主義の世界への波及と欧米社会		1	・産業資本主義による世界の一体化、労働力の移動と国際ネットワークの形成について、諸資料から読み取り、理解している。	・「世界の工場」とよばれたイギリスの急速な工業化が、世界の結びつき方をどのようにかえたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○「世界の工場」とよばれたイギリスの急速な工業化が、世界の結びつき方をどのようにかえたのかについて理解する。
	2 西アジアの危機と改革のはじまり		1	・西アジア諸国の改革の動きについて、諸資料から読み取り、理解している。	・西アジア・北アフリカにおいて、ヨーロッパ諸国との関係の変化はどのような影響をもたらしたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○西アジア・北アフリカにおいて、ヨーロッパ諸国との関係の変化はどのような影響をもたらしたのかについて理解する。
	3 南アジア・東南アジアの植民地化		1	・イギリスのインド支配とインド社会の変容、東南アジア島嶼部の植民地化について、諸資料から読み取り、理解している。	・南アジア・東南アジアの各地では、どのように植民地支配が拡大し、各地の社会にどのような影響を及ぼしたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○南アジア・東南アジアの各地では、どのように植民地支配が拡大し、各地の社会にどのような影響を及ぼしたのかについて理解する。
	4 清における開発の限界と二つのアヘン戦争		1	・アヘン戦争、アロー戦争と条約締結について、諸資料から読み取り、理解している。 ◎世界市場の形成とアジア諸国の変容について概念的に理解している。	・二つのアヘン戦争はなぜおきたのか、また、イギリスの勝利は何を意味したのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ◎世界市場の形成とアジア諸国の変容について、主題を設定して考察し、表現している。	◎世界市場の形成とアジア諸国の変容についての自らの学習を振り返り、学びを深めている。	○二つのアヘン戦争はなぜおきたのか、また、イギリスの勝利は何を意味したのかについて理解する。 ◎世界市場の形成とアジア諸国の変容について概念的に理解する。
第15章	アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行	11月	6	・第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争、アジア諸国の変革などを基に、世界分割の進展とナショナリズムの高まりを構造的に理解している。	・列強の対外進出とアジア・アフリカの動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、世界経済	・「アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○アジア諸国が自国の危機をどのように認識し、欧米列強と対峙しながらいかに改革をすすめたのか、また、欧米列強はなぜアジアやアフリカなどに進出しようとしたのかについて理解する。

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能 (評価の方法)	思考・判断・表現 (評価の方法)	主体的に学習に取り組む態度 (評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
					の構造的な変化、列強の帝国主義政策の共通点と相違点、アジア諸国のナショナリズムの特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。		
	1 列強の覇権争い		2	・欧米の帝国主義と工業化がアフリカやアジア諸地域にどのような影響を与えたのかについて、諸資料から読み取り、理解している。	・なぜ19世紀後半にヨーロッパ列強が世界分割をすすめたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○なぜ19世紀後半にヨーロッパ列強が世界分割をすすめたのかについて理解する。
	2 西アジア・中央アジアの変革		1	・西アジア諸国でおこった革命とイスラーム改革運動の展開について、諸資料から読み取り、理解している。	・19世紀後半から20世紀はじめにかけて西アジアの諸国で生じた変革とその背景について、多面的・多角的に考察し、表現している。		○19世紀後半から20世紀はじめにかけて西アジアの諸国で生じた変革とその背景について理解する。
	3 南アジア・東南アジアの民族運動		1	・インドや東南アジアでおこった民族運動について、諸資料から読み取り、理解している。	・19世紀後半から20世紀はじめにかけての南アジアと東南アジアの民族運動の特徴について、多面的・多角的に考察し、表現している。		○19世紀後半から20世紀はじめにかけての南アジアと東南アジアの民族運動の特徴について理解する。
	4 清の体制転換と近代国家建設の模索		2	・清の近代国家建設への模索、清をめぐる国際情勢、中華民国の成立などについて、諸資料から読み取り、理解している。 ◎アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行について概念的に理解する。	・経済成長の鈍化や外国勢力の拡大などに、清がどのように対応したのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ◎アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行について、主題を設定して考察し、表現している。	◎アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行についての自らの学習を振り返り、学びを深めている。	○経済成長の鈍化や外国勢力の拡大などに、清がどのように対応したのかについて理解する。 ◎アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行について概念的に理解する。
第16章	第一次世界大戦の展開と諸地域の変容	12月	5	・第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成、アメリカ合衆国の台頭、アジア・アフリカの動向とナショナリズムなどを基に、第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。	・第一次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、第一次世界大戦後の国際協調主義の性格、アメリカ合衆国の台頭の要因、アジア・アフリカのナショナリズムの性格などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・「第一次世界大戦の展開と諸地域の変容」の内容に対して、見直しをもって学習に取り組もうとしている。	○第一次世界大戦は、なぜ「世界大戦」とよばれ、それまでの戦争とどのような点において異なるのか、そして、それぞれの地域において戦争の経験はどのような意味をもったのかなどについて理解する。
	1 第一次世界大戦		1	・第一次世界大戦の展開と総力戦について、諸資料から読み取り、理解している。	・開戦時点で短期戦が予想された大戦は、なぜ、どのように長期化したのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○開戦時点で短期戦が予想された大戦は、なぜ、どのように長期化したのかについて理解する。
	2 ヴェルサイユ体制と国際秩序の再編		1	・ロシア革命の展開と、ヴェルサイユ体制などの戦後の国際秩序について、諸資料から読み取り、理解している。	・大戦前と大戦後を比べて、国際秩序のあり方はどのようにかわったのか、また、それはなぜなのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○大戦前と大戦後を比べて、国際秩序のあり方はどのようにかわったのか、また、それはなぜなのかについて理解する。
	3 大戦後のアメリカ合衆国とヨーロッパ		1	・大戦後のアメリカ合衆国の繁栄とヨーロッパ諸国の動向について、諸資料から読み取り、理解している。	・戦間期アメリカに出現した大衆社会とはどのようなものであり、それはほかの諸国の政治のあり方にどのような影響を与えたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○戦間期アメリカに出現した大衆社会とはどのようなものであり、それはほかの諸国の政治のあり方にどのような影響を与えたのかについて理解する。
	4 アジア・アフリカでの国家形成の動き		2	・第一次世界大戦後のアジア、アフリカでの民族運動について、諸資料から読み取り、理解している。 ◎第一次世界大戦の展開と諸地域の変容について概念的に理解している。	・第一次世界大戦の結果は、アジア各地の独立運動や民族形成にどのような影響を与えたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ◎第一次世界大戦の展開と諸地域の変容について、主題を設定して考察し、表現している。	◎第一次世界大戦の展開と諸地域の変容についての自らの学習を振り返り、学びを深めている。	○第一次世界大戦の結果は、アジア各地の独立運動や民族形成にどのような影響を与えたのかについて理解する。 ◎第一次世界大戦の展開と諸地域の変容について概念的に理解する。
第17章	国際協調体制の動揺と第二次世界大戦	1月	5	・世界恐慌とファシズムの動向、ヴェルサイユ・ワシントン体制の動揺などを基に国際関係の緊張と対立を構造的に理解している。	・世界恐慌と国際協調体制の動揺に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、世界恐慌に対する諸国家の対応策の共通点と相違点、ファシズムの特徴、第二次世界大戦に向かう国際関係の変化の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・「国際協調体制の動揺と第二次世界大戦」の内容に対して、見直しをもって学習に取り組もうとしている。	○世界恐慌は、経済や政治をどのように変化させたのか、また、第二次世界大戦はなぜひきおこされ、その推移は戦後の国際秩序の再編にどのような影響を与えたのかについて理解する。
	1 世界恐慌と政治・経済の変容		1	・世界恐慌と各国の対応、ナチ党の政権掌握について、諸資料から読み取り、理解している。	・世界恐慌は、諸地域の経済体制・政治体制にどのような影響を与えたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現して		○世界恐慌は、諸地域の経済体制・政治体制にどのような影響を与えたのかについて理解する。

単元番号	単元名	実施月	単元の 時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能 (評価の方法)	思考・判断・表現 (評価の方法)	主体的に学習に取り組む態度 (評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
	2 国際協調体制の 動揺		1	・ヴェルサイユ体制の崩壊と独裁体制の拡大、日中戦争と抗日戦線などについて、諸資料から読み取り、理解している。 ◎国際協調体制の動揺について概念的に理解している。	いる。 ・世界恐慌が与えた政治、経済の変化は国際協調体制にどのような打撃を与えたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ◎国際協調体制の動揺について、主題を設定して考察し、表現している。	◎国際協調体制の動揺についての自らの学習を振り返り、学びを深めている。	○世界恐慌が与えた政治、経済の変化は国際協調体制にどのような打撃を与えたのかについて理解する。 ◎国際協調体制の動揺について概念的に理解する。
	3 第二次世界大戦の 開戦と展開		1	・第二次世界大戦の展開について、諸資料から読み取り、理解している。	・ヨーロッパではじまった戦争が、どのようにアジア・太平洋での戦争と連動し、「第二次世界大戦」となったのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○ヨーロッパではじまった戦争が、どのようにアジア・太平洋での戦争と連動し、「第二次世界大戦」となったのかについて理解する。
	4 戦後秩序構想と 冷戦の形成		2	・国際連合の設立、ヨーロッパにおける冷戦の形成について、諸資料から読み取り、理解している。 ◎第二次世界大戦と戦後秩序構想について、概念的に理解している。	・大戦後半に国際秩序の再建はどのように構想され、それがどのように戦後米ソの対立を軸とする冷戦へと展開していったのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ◎第二次世界大戦と戦後秩序構想について、主題を設定して考察し、表現している。	◎第二次世界大戦と戦後秩序構想についての自らの学習を振り返り、学びを深めている。	○大戦後半に国際秩序の再建はどのように構想され、それがどのように戦後米ソの対立を軸とする冷戦へと展開していったのかについて理解する。 ◎第二次世界大戦と戦後秩序構想について概念的に理解する。
第18章	第二次世界大戦と戦 後の東アジア	1月	4	・第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の独立の始まりなどを基に、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。	・第二次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、第二次世界大戦中の連合国による戦後構想と大戦後の国際秩序との関連、アジア諸国の独立の地域的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。	・「第二次世界大戦と戦後の東アジア」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○第二次世界大戦中のアジアの戦後構想と実際のアジアの戦後は、どのような点が連続し、あるいは異なっていたのかについて理解する。
	1 アジア・太平洋 戦争と日本の敗戦		1	・アジア・太平洋戦争と日本の敗戦・占領統治について、諸資料から読み取り、理解している。	・第二次世界大戦終結への過程で、連合国はどのような東アジアの戦後構想をいだき、それをどのように実現しようとしたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○第二次世界大戦終結への過程で、連合国はどのような東アジアの戦後構想をいだき、それをどのように実現しようとしたのかについて理解する。
	2 帝国の解体と分 断国家の形成		1	・日本の敗戦後の東アジアの動向と中華人民共和国の成立について、諸資料から読み取り、理解している。	・日本の敗戦後、「帝国」はいかに解体され、日本の植民地や占領地域はどのような状況に置かれたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○日本の敗戦後、「帝国」はいかに解体され、日本の植民地や占領地域はどのような状況に置かれたのかについて理解する。
	3 アジア諸国の独 立と脱植民地化		1	・中東での対立、アジア諸国の独立をめぐる動向などについて、諸資料から読み取り、理解している。	・第二次世界大戦終結後、脱植民地化の動きはどの程度すすみ、また独立した国はどのような課題に直面したのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○第二次世界大戦終結後、脱植民地化の動きはどの程度すすみ、また独立した国はどのような課題に直面したのかについて理解する。
	4 朝鮮戦争と東ア ジアの「冷戦」		1	・朝鮮戦争、日本の国際社会への復帰、中国の国家建設について、諸資料から読み取り、理解している。 ◎第二次世界大戦と戦後の東アジアについて概念的に理解している。	・朝鮮戦争は東アジアにおける冷戦の形成とどのようにかかわっていたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ◎第二次世界大戦と戦後の東アジアについて、主題を設定して考察し、表現している。	◎第二次世界大戦と戦後の東アジアについての自らの学習を振り返り、学びを深めている。	○朝鮮戦争は東アジアにおける冷戦の形成とどのようにかかわっていたのかについて理解する。 ◎第二次世界大戦と戦後の東アジアについて概念的に理解する。
第4編	グローバル化と地球 的課題	2月		・国際機構の形成と平和への模索、経済のグローバル化と格差の是正、科学技術の高度化と知識基盤社会などに関する諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、地球世界の課題についての知識を身につけている。	・国際機構の形成と紛争、国際競争の展開と経済格差、科学技術の高度化と知識基盤社会などに関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、地球世界の課題を読み解く観点について考察し、問いを表現している。	・地球世界の課題について、課題意識や学習への見通しをもち、主体的に取り組もうとしている。	○国際機構の形成と平和への模索、経済のグローバル化と格差の是正、科学技術の高度化と知識基盤社会などに関する諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、地球世界の課題を読み解く観点について理解する。
第19章	冷戦の世界化と国際 秩序	2月	4	・集団安全保障と冷戦の展開、アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き、平和共存と多極化の進展、先進国の経済成長と南北問題、原子力の利用などを基に、紛争解決の取り組みと課題、知識基盤社会の展開と課題を理解している。	・国際機構の形成と紛争、国際競争の展開と経済格差、科学技術の高度化と知識基盤社会に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、国際連盟と国際連合との共通点と相違点、先進国による経済援助や経済の成長が見ら	・「冷戦の世界化と国際秩序」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○冷戦のもので、世界の平和はどのように模索されたのか、また、冷戦は世界に広がるなかで、それぞれの地域でどのような意味をもったのかについて理解する。

単元番号	単元名	実施月	単元の 時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能 (評価の方法)	思考・判断・表現 (評価の方法)	主体的に学習に取り組む態度 (評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
					れた地域の特徴、第二次世界大戦後の科学技術の高度化と政治・経済・社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現している。		
	1 冷戦と政治・経済秩序		1	・冷戦の世界的展開、戦後の安全保障と核兵器開発競争、欧米の経済復興などについて、諸資料から読み取り、理解している。	・冷戦下の世界では、政治、経済、安全保障の秩序はどのように構想されたのか、また、どのような均衡がみられたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○冷戦下の世界では、政治、経済、安全保障の秩序はどのように構想されたのか、また、どのような均衡がみられたのかについて理解する。
	2 アジア・アフリカ諸国の独立と第三勢力		2	・アジア・アフリカ諸国の独立、第三勢力の動向、アジアの経済成長などについて、諸資料から読み取り、理解している。	・独立国となったアジア・アフリカ諸国はどのような課題に直面し、また、これらの国家の出現は国際社会にどのような影響を与えたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○独立国となったアジア・アフリカ諸国はどのような課題に直面し、また、これらの国家の出現は国際社会にどのような影響を与えたのかについて理解する。
	3 平和共存と社会主義圏の多極化		1	・ソ連の平和共存路線と東欧の動揺、文化大革命、ベトナム戦争などについて、諸資料から読み取り、理解している。 ◎冷戦の世界化と国際秩序について概念的に理解している。	・冷戦下、東西のバランスはどのように推移し、また、多極化はどのように進展したのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ◎冷戦の世界化と国際秩序について、主題を設定して考察し、表現している。	◎冷戦の世界化と国際秩序についての自らの学習を振り返り、学びを深めている。	○冷戦下、東西のバランスはどのように推移し、また、多極化はどのように進展したのかについて理解する。 ◎冷戦の世界化と国際秩序について概念的に理解する。
第20章	冷戦の変容・終結と経済のグローバル化	2月	4	・冷戦の変容・終結と地域紛争の頻発、アメリカ合衆国の覇権の動揺、資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換、アジア・ラテンアメリカ諸国の経済成長と南南問題、経済のグローバル化、原子力の利用などを基に、紛争解決の取り組みと課題、格差の是正の取り組みと課題、知識基盤社会の展開と課題を理解している。	・国際機構の形成と紛争、国際競争の展開と経済格差、科学技術の高度化と知識基盤社会に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、冷戦下の紛争解決と冷戦後の紛争解決との共通点と相違点、紛争と経済や社会の変化との関連性、諸地域間の経済格差や各国内の経済格差の特徴、経済格差と政治や社会の変化との関連性、科学技術の高度化と政治・経済・社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・「冷戦の変容・終結と経済のグローバル化」の内容に対して、見直しをもって学習に取り組もうとしている。	○冷戦の変容にともない、アメリカ合衆国の経済覇権はどのように動揺したのか、また、その後生じた経済のグローバル化は何を契機におこり、世界経済をどのようにかえていったのかについて理解する。
	1 アメリカ合衆国の覇権の動揺と冷戦の変容		1	・国際経済体制の変容、石油危機とサミット、近代科学への問い、冷戦の変容、西ヨーロッパ政治の変容などについて、諸資料から読み取り、理解している。	・1970年代にアメリカの覇権に動揺が生じた原因は何か、また、それは米ソ関係や世界にどのような影響を与えたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○1970年代にアメリカの覇権に動揺が生じた原因は何か、また、それは米ソ関係や世界にどのような影響を与えたのかについて理解する。
	2 世界の諸地域における冷戦の多様な展開		1	・日本の経済発展と東アジアの民主化、中国の改革・開放政策、アジア・ラテンアメリカ諸国の動向などについて、諸資料から読み取り、理解している。	・アジア、アフリカ、ラテンアメリカの各国や社会が、1970年代の冷戦の変容に対してどのような選択をして対応したのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○アジア、アフリカ、ラテンアメリカの各国や社会が、1970年代の冷戦の変容に対してどのような選択をして対応したのかについて理解する。
	3 冷戦の終結と冷戦後の世界		1	・冷戦の終結とソ連の解体、天安門事件と中国の孤立、ヨーロッパ統合の進展について、諸資料から読み取り、理解している。	・冷戦は米ソ間やヨーロッパではどのように終結したのか、また、ほかの各地域での冷戦は終結したのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○冷戦は米ソ間やヨーロッパではどのように終結したのか、また、ほかの各地域での冷戦は終結したのかについて理解する。
	4 アメリカ合衆国の復調とグローバル化		1	・グローバル化とアメリカ合衆国の復調、パレスティナ問題、アジア諸地域の経済発展と民主化、アフリカの内乱と貧困問題について、諸資料から読み取り、理解している。 ◎冷戦の変容・終結と経済のグローバル化について概念的に理解している。	・冷戦終結後、世界秩序はどのような方向に向かったのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ◎冷戦の変容・終結と経済のグローバル化について、主題を設定して考察し、表現している。	◎冷戦の変容・終結と経済のグローバル化についての自らの学習を振り返り、学びを深めている。	○冷戦終結後、世界秩序はどのような方向に向かったのかについて理解する。 ◎冷戦の変容・終結と経済のグローバル化について概念的に理解する。
第21章	21世紀の地球的課題と人類社会	3月	2	・地域紛争の頻発、経済のグローバル化、原子力の利用や宇宙探査などの科学技術、医療技術・バイオテクノロジーと生命倫理、人工知能と労働の在り方の変容、情報通信技術の発達と知識の普及などを基に、紛争解決の取り組みと課題、格差の是正の取り組みと課題、知識基盤社会の展開と課題を理解している。	・国際機構の形成と紛争、国際競争の展開と経済格差、科学技術の高度化と知識基盤社会に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、紛争と経済や社会の変化との関連性、経済格差と政治や社会の変化との関連性、現代の科学技術や文化の歴史的な特	・「21世紀の地球的課題と人類社会」の内容に対して、見直しをもって学習に取り組もうとしている。	○21世紀に入り、地球上ではどのような問題が生じ、人類社会はどのような課題に直面し、それを克服しようとしているのかについて、これまでの歴史を踏まえ、その課題に取り組む当事者として考える。

単元番号	単元名	実施月	単元の 時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能 (評価の方法)	思考・判断・表現 (評価の方法)	主体的に学習に取り組む態度 (評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
					色、第二次世界大戦後の科学技術の高度化と政治・経済・社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現している。		
	1 グローバル化にともなう世界の変容		0.5	・グローバル化と地球的諸課題について、諸資料から読み取り、理解している。	・グローバル化にともなって生じた課題にはどのようなものがあり、そうした課題はなぜ生みだされたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○グローバル化にともなって生じた課題にはどのようなものがあり、そうした課題はなぜ生みだされたのかについて理解する。
	2 地球的諸課題		0.5	・環境問題、原子力・核兵器の管理、宇宙開発と国際協力、医療の発達と課題について、諸資料から読み取り、理解している。	・なぜグローバル化の進展にともなって解決がいつそう困難になった地球的諸課題があるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○なぜグローバル化の進展にともなって解決がいつそう困難になった地球的諸課題があるのかについて理解する。
	3 新たな秩序変容		1	・新興国の台頭と国際秩序、アメリカの覇権の動揺、地域統合問題、中東の情勢、中国の台頭とアジア・太平洋地域について、諸資料から読み取り、理解している。 ◎21世紀の地球的課題と人類社会について概念的に理解している。	・グローバル化の進展によって生じた秩序の変容にはどのようなものがあるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ◎21世紀の地球的課題と人類社会について、主題を設定して考察し、表現している。	◎21世紀の地球的課題と人類社会についての自らの学習を振り返り、学びを深めている。	○グローバル化の進展によって生じた秩序の変容にはどのようなものがあるのかについて理解する。 ◎21世紀の地球的課題と人類社会について概念的に理解する。
21世紀の地球的課題と世界史		3月	2	・紛争解決や共生、経済格差の是正や経済発展、科学技術の発展や文化の変容などに関する諸資料を活用し、歴史的経緯を踏まえて、地球世界の課題を理解している。	・地球世界の課題の形成に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	・紛争解決や共生、経済格差の是正や経済発展、科学技術の発展や文化の変容などに関する課題意識や学習への見通しをもち、主体的に取り組もうとしている。	○世界史探究の学習を基に、持続可能な社会の実現を視野に入れ、主題を設定し、諸資料を活用し探究する活動を通して、地球世界の課題を理解する。
定期テスト	1 学期中間 1 学期期末 2 学期中間 2 学期期末 3 学期期末	5月 7月 10月 12月 2月		・諸資料を適切かつ効果的に調べまとめる技能や、概念的な理解に基づく知識を獲得できているかを評価する。	・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、概念などを活用して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察し、構想したことを効果的に説明したり、表現したりする力を評価する。		